

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	051100	TEL	2928-8411				
事業コード	新所沢公民館施設提供事業			担当部課					
051104				新所沢まちづくりセンター					
開始年度		昭和	47	年度	→				
終了年度		平成		年度					
		グループ	コミュニティグループ						
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	第4次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例				
	関連・類似事業	コミュニティ施設提供事業							
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	公民館機能の充実を図ります		
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においては、その設置目的達成のため、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を行うこととされている。								
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	集団による各種学習文化活動の場を提供し、住民の学び合い・支え合い・学習成果の地域還元を促進し、地縁と知縁による地域コミュニティを豊かにすること。そのような活動をする公民館登録団体を育成すること。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	28,415 人				
	主に新所沢地区住民			平成 27 年度	28,396 人				
事業の具体的な内容及び実施方法	上記の目的を実現するためには、利用者と同じ理解を共有しなければなりません。その趣旨を市民と共有した上で、活発な活動を展開してもらう団体を増やすために、窓口での利用相談への対応は丁寧な説明と、利用希望者の要望を聞き取り、すり合わせていく事務となります。 登録団体へは、窓口申請のほか平成18年度の新予約システム導入によりロビー端末機・インターネットに加え、携帯電話による利用予約手続きが可能となっている。								
④経費	<会計種別>	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)				
	当初予算		23,168	27,519	28,728				
	決算(見込み含む)		28,360	28,508					
	(非常勤特別職員)	( 0.50 人)	( 1.95 人)	( 0.50 人)	( 1.95 人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	( 臨時任用職員)								
	正規職員人件費	1.40 人	11,931	1.20 人	10,392				
事業費合計		40,291	38,900						
財源内訳	一般財源	33,219	31,727	24,524					
	国・県支出金								
	その他( 受益者負担 )	7,072	7,173	4,204					
⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	年間利用可能区分数	1日6区分×部屋×開館日数(月曜日は4区分)	区分	27,860	27,720	27,700	27,800	
		年間利用区分数(公民館)	年間延べ利用区分数	区分	15,800	16,446	16,400	16,500	
		年間利用区分数(体育館)	年間延べ利用区分数	区分	16,110	16,084	16,000	16,100	
⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	年間施設稼働率	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	%	目標値	65	65	65	70
					実績	57	59	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	87	91	↑どちらかをチェックしてください			
⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	・駐車場と歩行者通路の間に防護柵を設置し、来館者の安全を確保した。 ・ホール音響設備の設定簡素化によりホール利用者の利便性を高めた。			・地域住民に対する公民館の利用方法の認知が進んでいないと思われる。 ・公民館の貸し出し基準が難解であり、登録団体以外にとっては利用しづらい状況となっていると思われる。					
⑧評価	継続 <input checked="" type="checkbox"/>	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	現在、6割程度にとどまっている稼働率を鑑みると、引き続き地域住民の自主的な活動の場を担保したうえで、施設の有効活用を進める必要があるため。				
	<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		利用者の安全確保のためには、十分な施設維持費が不可欠である一方、各種業務委託等に関してはすでに十分なコストダウンが図られていて仕様の見直しにも苦慮する状況であるため。				
	今向後の	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由					
⑨評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性					
	団体登録の書式を簡素化するとともに、登録可否の判断要素を明確化し、団体登録手続きの迅速化をすすめた。			引き続き、地域の自主的かつ非営利的に活動する地域の団体を支援するとともに、施設の有効活用を図るため、貸し出し手続きの改善を検討していく。					
評価日	H28.8.15	評価者職氏名	新所沢まちづくりセンター長 澤田 孝男						
⑩環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無	